

令和3年度 第2回資料館運営委員会 資料

<協議事項>

<令和3年度 資料館事業報告>

1. 展示及び展覧会

(1) 企画展

①ミニ展示

ア) 第1回「三六災害 60周年」

期間 令和3年 5月9日 ～ 令和3年7月19日

内容

- *三六災害（昭和36年6月下旬）から60周年ということで、町の人々に災害への心構えや地域の状況を理解してもらうため、記録写真や出版物を展示して理解を広げるよう計画
- *資料館に保管されている当時の写真・三六災害についての出版物学校の記録などを展示



イ) 第2回「松川町の指定文化財」「路傍の石造展」

期間 令和3年8月1日～令和3年10月29日

内容 松川町にある指定文化財33点について、町民のみなさんに知ってもらうため、ホームページに載せられている写真と説明の用紙を展示、町内にある代表的な石造を分類して紹介し、知ってもらうように展示した。



ウ) 第3回「画家北島新平と信州の作家たち」

期間 令和3年11月1日～ 令和3年12月25日

内容 令和3年に飯田市南信濃木沢で活躍していた亡くなった、画家北島新平さんのご遺族から、原画の寄贈があった。寄贈された作品3点のうち2点は、松川町に居住していた作家中繁彦さんの書さし絵の原画だったので、二人の生涯について調べ、町民の皆さんに知ってもらいたいことを展示した。北島新平さんがさし絵や表紙絵を描いた書を図書館から探し、たくさん紹介するとともに、中繁彦さん遺族から借用した多くの遺品も整理して紹介した。展示の閲覧者は近年になく多く、飯田下伊那全域から多くの見学者があった。





- ★資料館階段通路も使い、なるべく多くの人に目を引いてもらえるよう工夫した。
- ★本年度は新型コロナ・ウイルス感染症の拡大に伴い、臨時休館となった時期があった。(8/21～9/13、1/13～3/6) それでも多くの方に企画展を見に来館していただいた。特に「三六災害 60 周年」「画家北島新平と信州の作家たち」展は新聞(中日新聞・信濃毎日新聞・南信州新聞)にも取り上げられ、町内のみならず県内から多くの来館者があった。

(2) 特別展

①「ちょっと素敵な展覧会 伊勢神宮奉納画家 松尾隆康 祈りの世界」

期 間 (令和4年1月13日～ 1月23日) →延期
 内 容 松尾隆康さん(高森町)の仏画作品展

- ★開催予定期間に、コロナ・ウイルス感染の拡大に伴い、閉館になったので実施できなかった。今後希望を聞いて開催できる時には、展示を進めていくようにする。

②「天竜河畔の原始古代集落～馬坂地区の発掘調査より～」

期 間：令和4年3月20日(日) ～ ~~令和4年3月24日(木)~~
 →好評につき4月18日まで延長
 内 容：宮ヶ瀬橋架け替えに伴う発掘調査の出土品を展示
 来館者数： 61 名(24日時点)

馬坂・竹越遺跡の発掘調査によって、縄文時代中期から平安時代にかけての集落跡が見つかった。遺構からは、天竜川河畔の「川棲み」の集落独特の生産用具をはじめ、顔面把手付土器や、大型礎石遺構など、全国的にも珍しい遺物・遺構も複数検出された。令和3年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業の一環としてこれらの出土品を展示し、長期にわたって継続的に営まれた集落の様子を紹介した。予定していた5日間だけでも町内外か

ら多くの来館者があり、短期間での開催を惜しむ声もいただいたため、4月中旬まで会期を延長する予定である。



2. 教育普及・学習援助

(1) 松川町教育委員会発行副読本

『ふるさと 松川町～松川町の自然と歴史・文化～』の配本

- ・松川北小学校、松川中央小学校3年生および職員用 配本
- ・令和6年度分迄あり、令和6年度に改訂版発刊の準備をし、発刊する。令和7年度配本
- ・一般の人への販売も行った。

資料館で直接受け取る人 1冊 1000円

郵送で受け取る人 1冊 1500円

代金は役場会計係へ支払い

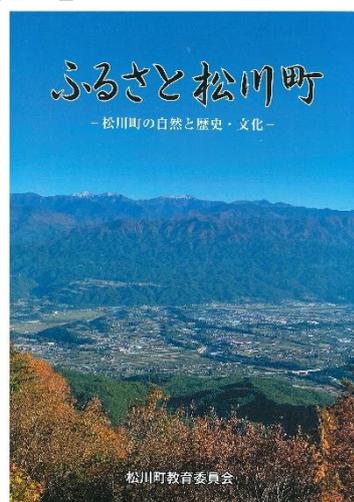
令和2年度 73冊販売

令和3年度 4冊販売

- ・正誤表 配本と一緒に、各学校へ配布

次回改訂版発刊時に、訂正する。

- ・令和3年度の「役場のしくみ」改変部分は、令和4年度から配布



(2) 松川中学校 2 年生職場体験学習

- ・本年度もなし

(3) 松川中央小学校 3 年生学習援助

- ・新型コロナ・ウイルス感染広がりのため見学中止

(4) 松川北小学校遠足 学習援助

- ・5月12日(水) 上片桐清泰寺 閻魔王と十王について解説

(5) 松川中学校 1 年総合的な学習援助

- ・10月4日(月)「松川町資料館見学」
- ・10月19日(火)「松川町の伝統文化・祭り」「民話について」
- ・11月5日(金)「三六災害について」
- ・11月12日(金)「松川町資料館見学」

(6) あそびの楽校まつかわ 協力

あそびの楽校まつかわの申込受付や事務局である南信州まつかわ観光まちづくりセンターとの連絡・調整を主に行った。今後も子どもたちにむけた地域学習の場を創出できるよう適宜協力していく。

(7) 地域からの要請に応える

①講演

つつみの会学習会

10月18日「松川町の鉄道通過と人々の働きかけ」担当 伊坪

②ツツザキヤマジノギク保存活動への協力

公民館・社会教育委員会や外部機関と連携して、活動するための保全協議会への出席及び現地観察会・外来植物除去作業に参加

10月23日 ツツザキヤマジノギク観察会

12月18日 ツツザキヤマジノギク播種用種採取→悪天候のため中止

3月19日 ツツザキヤマジノギク播種作業予定

③公民館事業 地域を知る講座 協力

ア) 台城狼煙上げ 協力

10月30日(土)実施。「武田信玄狼煙上げリレー」は、新型コロナ・ウイルス感染拡大防止のため、開催規模を縮小し関係者のみで行われ

た。当初は開会イベントとして大島城にまつわるクイズの出題を予定していたが中止となった。



イ) 晩秋の伊那坂東三十三番札所と新宮ヶ瀬橋周辺遺産巡り 協力

11月20日(土)実施。伊那坂東三十三番札所に設定されている町内5か所の霊場と新宮ヶ瀬橋周辺の文化遺産(江戸時代の堤防跡「芻ね」、馬坂の大型礎石遺構)を巡り、町内の寺社や文化財について理解を深めてもらった。



3. 広報活動

(1) 展覧会(企画展・特別展)の広報

①松川町ホームページ掲載

企画展、特別展をホームページにて告知

②チャンネル・ユーによる広報

企画展、特別展をチャンネル・ユーに依頼し、取材をしてもらい放送してもらった。

(2) 公民館報に毎月掲載「松川町の今昔～資料館だより～」

- ・ 第 689 号 (令和 3 年 4 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 55 回>
 伊那電松川町通過の歴史 (その 4)」
- ・ 第 690 号 (令和 3 年 5 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 56 回>
 「江戸時代生田の果物栽培」
- ・ 第 691 号 (令和 3 年 6 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 57 回>
 「江戸時代の祝儀・見舞帳 (その 1)」
- ・ 第 692 号 (令和 3 年 7 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 58 回>
 「江戸時代の祝儀・見舞帳 (その 2)」
- ・ 第 693 号 (令和 3 年 8 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 59 回>
 「宝暦中馬一件と江戸幕府見分役来郡」
- ・ 第 694 号 (令和 3 年 9 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 60 回>
 「俳人井上井月と松川町」
- ・ 第 695 号 (令和 3 年 10 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 61 回>
 「中繁彦先生と北島新平先生」
- ・ 第 696 号 (令和 3 年 11 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 62 回>
 「生田の秩父三十四観音と坂東三十三観音」
- ・ 第 697 号 (令和 3 年 12 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 63 回>
 「江戸時代の村の鉄砲 (その 1)」
- ・ 第 698 号 (令和 4 年 1 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 64 回>
 「江戸時代の村の鉄砲 (その 2)」
- ・ 第 699 号 (令和 4 年 2 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 65 回>
 「江戸時代の祭礼 (その 1)」
- ・ 第 700 号 (令和 4 年 3 月 15 日)
 <松川町の今昔～資料館だより～第 66 回> 「江戸時代の祭礼(その 2)」

(3) 文化財パズルおよび資料館クイズ

本年度は新しいパズルを 2 点作った。今まで作成したパズルは、小学校の児童が放課後來館して楽しんでいる。また保育園の園児が親子で来館してやっていることもある。

クイズは 3 回ほど問題の出題を変えたが、放課後來館する小学生に喜ばれ、多くの児童がクイズに取り組んでいる。クイズに取り組んだ児童には松川町の文化財に関連したしおりなどをプレゼントしている。

4. その他

(1) 収蔵史料・寄贈史料等の受け入れと整理・目録作成

・松川町資料館内

松川中央小学校史料（追加 古い書籍等運び整理し保管）

旧松川東小学校史料（松川町資料館へ運び整理して保管）

松川町有線放送番組保存テープ整理

・上片桐地区

中平千穂恵家文書（資料館へ寄贈されていた）

竹村家所蔵史料（資料館へ寄贈されていた）

大澤達也家文書（整理して返却）

・大島地区

岡村華奈代家文書（整理して返却）

(2) 他機関との連携・協力

①信州ミュージアム・ネットワーク「信州とあそぼ！」企画協力

・本年度は中止

②他資料館との連携

・高森町歴史民俗資料館から依頼のあった松川町の史跡等見学は、コロナ禍等の理由により中止となる。（見学援助）

・飯田市美術博物館トピック展示「飯田下伊那における疫病」へ、上片桐諏訪形の大草履の写真を提供した。

③自衛隊長野地方協力本部 パネル展示 資料提供

- ・6月～7月にかけて中川村ショッピングセンターチャオで行われた自衛隊活動写真パネル展示へ当館所蔵の三六災害に係る写真を提供した。

④上片桐郵便局 郵政 150 年記念展示 資料提供

- ・「郵政 150 年記念スタンプラリー」企画において、郵便局の歴史に関する資料として当館で所蔵する創業当時の看板を貸出した。

⑤JICA 青年海外協力隊 動画教材作成 協力

- ・12月18日(土)
開発途上国で活動する JICA 青年海外協力隊の生活支援の一環で生活改善・コミュニティ開発に関する動画教材を製作するため、撮影場所として資料館展示室の囲炉裏(農村の暮らしコーナー)を提供した。

(3) 調査・研究への協力

個人からの調査・研究協力依頼も多数あった。古文書や古絵図の閲覧・撮影依頼、建造物の見学・調査依頼、考古資料の調査依頼、その他資料提供依頼などがあつた。大学院生・大学生からの依頼も複数あつた。

(4) 講演会の開催(無観客開催→チャンネル・ユーでの番組放送)

宮ヶ瀬橋架け替えに伴う発掘調査報告・文化財講演会

「太古からつづく魅惑の地 馬坂」

日時：令和4年3月2日(水) 10:00～12:30

場所：松川中央公民館 えみりあ 学習室1

講師：松川町文化財保護審議委員 坂本 正夫 先生

「松川町馬坂で発見された天竜川流域で唯一の扇状地性段丘」

松川町文化財アドバイザー 酒井 幸則 先生

「『馬坂』から見える大島の歴史点描～馬坂・竹越遺跡の発掘調査を通じて～」

令和3年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業の一環として、宮ヶ瀬橋の架け替えに伴って行われた馬坂・竹越遺跡の発掘調査成果を報告する講演会を実施。当初は有観客での開催を予定していたが、まん延防止等重点措置の適用期間延長に伴って無観客で開催した。代替措置として、チャンネル・ユーに番組として収録してもらい、講演内容を放送した。

放送日時：令和3年3月27日(日) 19:00～ チャンネル・ユー 12ch



<報告事項>

(1) 窓口事務補助員

- ・本年度日曜日及び祝祭日の職員不在時等、2名の補助員にて開館してきた。
(小平 純久 さん ・ 宮下 義雄 さん)

(2) 入館者数

- ・きちんとした統計は取れていないが、多い時で1日20名ほど、少ない時は数名という時もある。小学生が放課後などに来ることは多くなった。さらに入館してもらえるように、企画展や日常のミニ展示など考えていきたい。

(3) 施設及びその管理

- ・施設の冷暖房、映像機器等、開館から30年近くなってきたので、改善するように考えている。
- ・館内照明器具（蛍光灯・照明ランプ等）の交換が多数あった。
- ・令和5年度に改修工事が考えられているので、令和4年度に充分検討するとともに、運営委員会でも意見を出していただくようにしたい。